

# 「介護保険法改正案」についての学習会

「介護保険法改正案」が、2018年度から実施に向けて、現在国会に提出されました。

- 1 「保険者機能の強化」による認定率の引き下げ
- 2 医療保険を含む療養病床の介護保険施設(介護医療院)への転換
- 3 介護サービスと障害者サービスの相乗り(共生型サービスの新設)
- 4 「医療保険の現役並み所得者」の利用者負担を3割に引き上げ
- 5 第2号介護保険料の「総報酬割」導入による社会保障費自然増の抑制

このことによって、介護保険は、どのように変わっていくのでしょうか？

日時： 2017年4月16日(日) 10:00～12:00

会場： 日比谷図書文化館 4F スタジオプラス(小ホール)  
(千代田区日比谷公園1-4 霞ヶ関駅・内幸町駅 徒歩3分)

定員： 60名 (早めにご予約ください。会場の都合で定員以上は入室  
できませんので、御了承ください。定員を超えた場合、  
日比谷公園内の喫茶店で、スカイプ中継を予定します。)

参加費： 500円 当日、受付にてお支払いください。

講師： 服部万里子さん (服部メディカル研究所 所長)

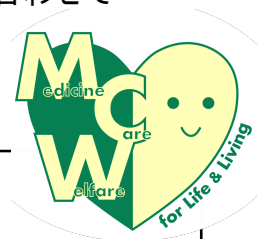
<講師からの一言三言>

3割負担も高額介護費の縮小も問題ですが、以下の2点は、今までの福祉制度そのものを変える改定と考えています。

1. 市町村の要介護度や介護認定率の改善、介護給付の削減を競わせて、交付金を出す税制インセンティブは、介護度改善(自立支援)を目的としたケアマネジメントを誘導。介護保険は、疾患や、老衰などで介護が必要になった時の、人間らしい生活の継続のために創設されたはずではなかったか。介護度改善が目標か？
2. 「我がこと丸ごと地域共生社会の実現」のスローガンのもと、高齢者、障害者、児童の共通サービスを訪問介護、デイサービス、ショートステイで創設。それぞれ目的と役割の異なる障害者福祉と児童福祉を介護保険に合わせていくのならば、これは福祉から保険への転換である。介護保険の年齢引き下げ(撤廃)につながっていく？

主催：いのちと暮らしを脅かす  
安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉関係者の会

<問い合わせ先> Mail: heiwa.inochi@gmail.com Tel: 090-3312-7607



# 銀座 パレード

2017年4月16日(日)  
14:00~15:00



医療も介護も福祉も削減されるアベ政治に NO !

「高齢者よ、立ち上がれ！」

「障害者も声を上げよう！」

「若者も続こう！」



- 14:00 日比谷公園中幸門を出発
- 14:05 内幸町交差点を通過。
- 14:15 JR高架下を抜け外堀通りに入る。
- 14:30 数寄屋橋交差点を進む。
- 14:50 丸の内鍛冶橋駐車場前に到着。

※ 14時に、日比谷公園中幸門(地下鉄霞ヶ関駅・内幸町駅徒歩3分)を出発し、丸の内鍛冶橋駐車場前で流れ解散となります。ゆっくり歩いて、1時間弱のコースです。

車椅子、シルバーカーでの参加歓迎します。  
ご参加ください！

主催：アベ NO THANK YOU ! の会

<問い合わせ先> Mail: heiva.inochi@gmail.com Tel: 090-3312-7607